

親父が認知症に!?

番外編

後日談 ②

年前に消費期限が切れていました。

■冷蔵庫に充滿していた
腐敗臭

翌日、弟からメールが入りました。母の状態は腰椎の圧迫骨折で、ひとまず3日間ほど入院させて様子を見るとのことでした。それは実家が3日間、無人になるといことです。冷蔵庫に入っている生ものを処分することを、弟を通して母に伝え、合い鍵で実家に入りました。

実家の中には、母が買い物に出かけたときそのまま時間が止まっていました。流し台には、洗いかけの食器があり、テーブルの上には茶碗とお皿が重ねてあって、すぐに夕食の支

度にとりかかるともりだったことが分かります。

冷蔵庫を開けると、強烈な腐敗臭が鼻を突きました。昨日の今日で、こうはなりません。ずっと前から、入れっぱなしになっている食品があるのでしょ

う。その正体はすぐ分かりました。皿に盛った焼き飯が、ラップに包まれたままカビが生えています。水分が抜けきるまでカラカラに乾燥したキャベツ。その奥には鶏肉のパックが、何層にも重なっていました。買ったことを忘れて、同じものを何度も買ってきたのでしょう。いちばん古いパックは、半

想像していた以上に状態がひどいので、冷蔵庫に入っているものを全て処分することにしました。

自宅から持参したビニール袋に、冷蔵庫の中身を片っ端から放り込んでいきます。冷蔵庫がカラになったとき、45リットルのビニール袋が6つ満杯になっていました。

そのとき同時に気づいたのですが、流し台の洗剤が放置されているのは、洗剤が切れているからでした。買おうと思っ

ていても、買い物に出たら忘れてしまうのでしょう。カラの容器が空しく転がっていました。

(次号に続く)